

# 2016年3月期 決算補足資料

1. 決算概観	P.1
2. 業績のポイント(対前年)	P.2
3. 業績の状況	P.3
4. 主要製品売上の状況	P.4
5. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	P.5
6. 開発品一覧	P.6～8
【参考資料】	
7. セグメント情報	P.10
8. 損益計算書の概要	P.11～12
9. 貸借対照表の概要	P.13
10. 主な業績項目の推移	P.14
11. 2017年3月期 連結業績予想	P.15
12. 杏林製薬(単体)資料	P.16～19

2016年5月12日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



# 2016年3月期 決算概観(連結)

(単位:百万円)	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	前年比	17年3月期 (予想)	前年比
売上高	107,031	111,400	113,121	119,483	+5.6%	120,000	+0.4%
営業利益	17,948	17,607	14,737	19,636	+33.2%	14,500	-26.2%
経常利益	18,676	18,281	15,490	19,995	+29.1%	14,900	-25.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,422	12,025	12,064	13,639	+13.1%	10,700	-21.6%
1株当たり当期純利益(円)	166.25円	160.95円	161.63円	184.28円	+14.0%	145.23円	-21.2%
総資産	154,968	169,378	183,383	197,825	+7.9%	—	—
純資産	129,099	137,821	148,600	157,049	+5.7%	—	—

## 2016年3月期 連結業績(実績)

【売上高】 新医薬品において、国内では喘息治療配合剤「フルティフォーム」等の主力製品が伸長し、海外ではライセンス契約締結に伴う一時金収入を計上したことから、医薬品事業の売上が前年度を大きく上回り、売上高は過去最高の1,194億83百万円(前年比5.6%増)と前年同期比63億62百万円の増収になりました。

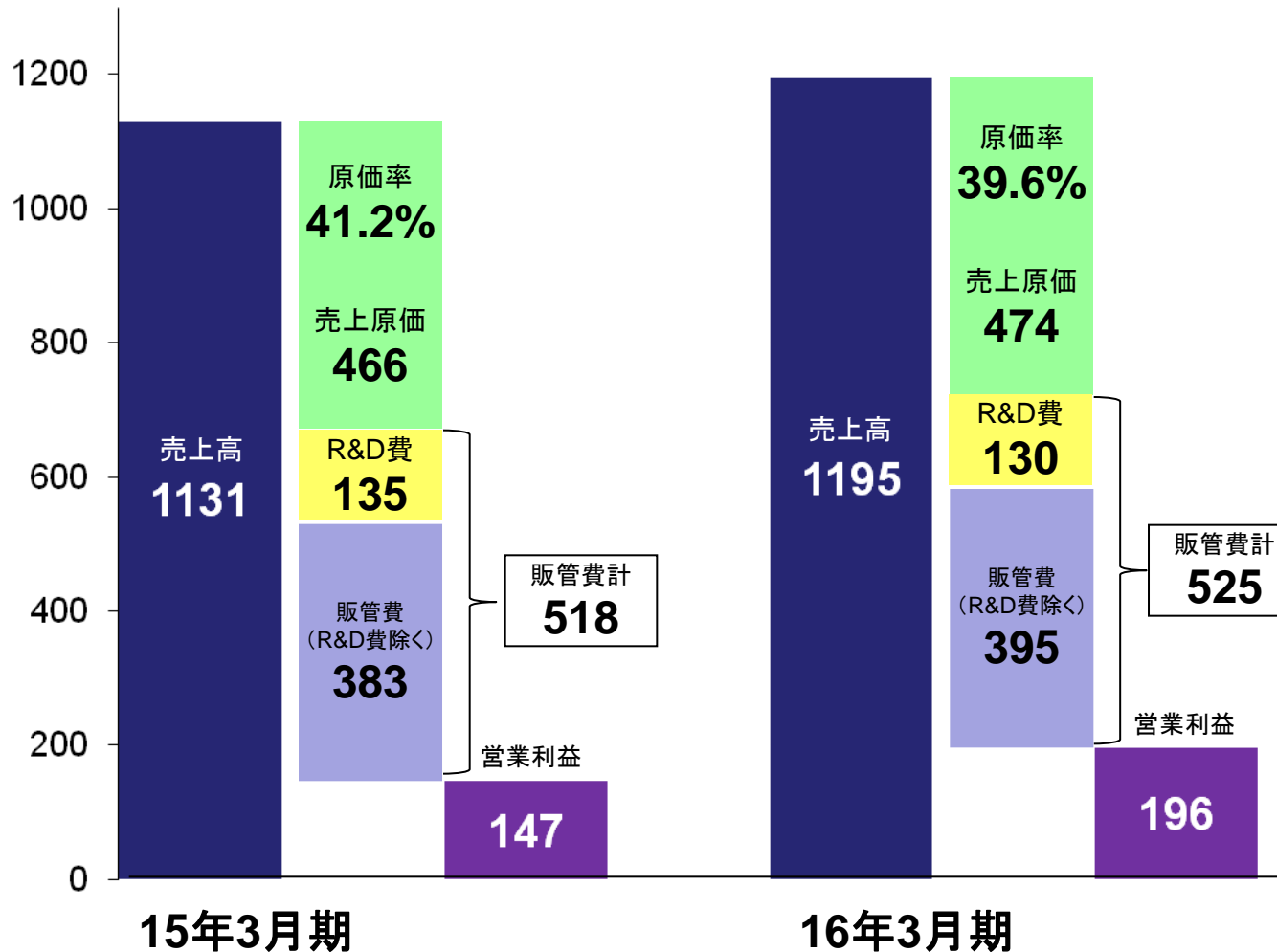
【利益】 販売費及び一般管理費は増加しましたが、主力製品の増収と契約一時金収入の計上等により売上総利益は前年に対して55億99百万円増加しました。営業利益は、前年同期比48億98百万円の増益となり、過去最高の196億36百万円(前年同期比33.2%増)を達成しました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益約19億円、特別損失約31億円を計上したことから136億39百万円(前年同期比13.1%増)となりました。

## 2017年3月期 連結業績(予想)

【売上高・利益】 売上高では、16年4月に実施された薬価改定等により新医薬品の売上は前年度を下回る見通しですが、後発医薬品の売上が前年度を上回る見通しで、全体としては微増収を見込みます。利益面では、薬価改定、主力製品の特許切れ、前年度に計上した導出一時金収入の減少を主因として、減益を見込みます。17年3月期の業績としては、売上高1,200億円(前年比0.4%増)、営業利益145億円(前年比26.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益107億円(前年比21.6%減)を予想します。

# 2016年3月期 業績のポイント(対前年)

(単位: 億円)



## 【ポイント】

- 売上高は前年比64億円増
  - ・主力製品の売上増 (キプレス、フルティフォーム等)
  - ・ライセンス契約一時金
- 売上原価率は1.6%低下
- 売上総利益は前年比56億円増
- 販管費は前年比7億円増
  - ・R&D費は5億円減
  - ・販管費 (R&D費除く)は12億円増
- 営業利益は前年比49億円増

# 2016年3月期 業績の状況

(単位:億円)

	15年3月期 (実績)	16年3月期 (実績)	対前年
売上高	1,131	1,195	+64
医薬品事業	1,118	1,182	+64
◆新医薬品	921	983	+62
○国内	911	927	+16
○海外	10	56	+46
◆後発医薬品	155	155	0
◆一般用医薬品他	42	45	+3
ヘルスケア事業 (スキンケア)	13	12	-1

営業利益	147	196	+49
経常利益	155	200	+45
親会社株主に帰属 する当期純利益	121	136	+15

※国内新医薬品にキョーリン製薬グループ工場(株)の売上を含みます

## ■配当

58円00銭/株(うち、中間配当20円/株)、配当性向31.8%  
 (配当予想を上方修正いたしました。詳細は本日別途プレスリリースいたしました  
 「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください)

	(対前年)	(対予想) 16年2月3日発表
■売上高	1,195億円 (+64)	(-7)
◆医薬品事業	1,182億円 (+64)	(-3)
●国内新医薬品	927億円 (+16)	(+2)
15.3 実績		16.3 実績
・キプレス	412 ⇒ 441 (+29)	(+11)
・フルティフォーム	36 ⇒ 72 (+36)	(-3)
・ウリトス	73 ⇒ 75 (+2)	(-1)
・ムコダイン	140 ⇒ 130 (-10)	(+3)
・ペンタサ	172 ⇒ 161 (-11)	(-3)
●海外新医薬品	56億円 (+46)	(+4)
・ガチフロキサシン	6 ⇒ 8 (+2)	(+4)
*ライセンス契約一時金(FPR2作動薬プログラム)		
●後発医薬品	155億円 (0)	(-6)
他社受託の売上は減少、自社販売の売上は増加		
●一般用医薬品他	45億円 (+3)	(-1)
◆ヘルスケア事業(スキンケア)	12億円 (-1)	(-4)
■営業利益	196億円 (+49)	(+2)
◆営業利益率は16.4%と前年比3.4ポイント上昇		
●原価率:前年比1.6ポイント低下 (41.2%⇒39.6%) ライセンス契約一時金(FPR2作動薬プログラム)		
●研究開発費率:前年比1.0ポイント低下 (11.9%⇒10.9%) *5億円減少(135億円⇒130億円) わたらせ創薬センター開設費用が増加、KRP-114V(共同開発契約等)の費用等が減少		
●販管費率(除R&D費):前年比0.8ポイント低下 (33.8%⇒33.0%) *12億円増加(383億円⇒395億円) 特許等使用料、販売費等の増加		
■親会社株主に帰属する 当期純利益	136億円 (+15)	(+6)

・特別利益19億円:杏林製薬(株)の旧東京支店ビル(東京都新宿区)の土地・建物の譲渡益18億円等  
 ・特別損失31億円:杏林製薬(株)の岡谷工場閉鎖に関わる損失約27億円等

# 2016年3月期 主要製品売上の状況

(単位: 億円)

		12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期		17年3月期 (予想)
						実績	前同比(%)	
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	368	396	402	412	441	+6.9	333
	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	—	—	6	36	72	+99.8	129
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	63	75	81	73	75	+2.8	78
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	215	191	184	140	130	-7.3	108
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	180	176	186	172	161	-6.1	158
	デスロラタジン(一般名) (アレルギー性疾患治療薬)	—	—	—	—	—	—	19
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	19	20	21	20	21	+5.2	21

# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況(連結)

(単位:百万円)

	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期		17年3月期 (予想)
					実績	増減比	
研究開発費	13,964	11,059	11,359	13,514	13,019	-3.7%	13,500
設備投資	1,952	6,576	6,500	2,655	7,218	171.8%	4,700
減価償却費	2,363	2,738	3,153	3,053	3,730	22.1%	3,900

## 設備投資の詳細 (実績/予想)

(単位:億円)

	15年3月期 (実績)	16年3月期 (実績)	17年3月期 (予想)
工場設備	15	24	26
管理・販売設備	3	4	5
研究用設備	8	44	16

# 開発品一覧①(2016年5月12日現在)

## PhⅢ ~承認

※:前回(2016年3月期 第3四半期 2月3日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
PhⅢ (15年1月)	【米国、欧州、他】 米国ルク社 :PhⅡ終了	KRP-114V	過活動膀胱	米国 ルク社	膀胱のβ <sub>3</sub> 受容体に作用する事で、膀胱弛緩作用を増強し、頻尿の改善が期待される	米国ルク社とライセンス契約(14年7月) ※キッセイ薬品工業(株)と共同開発・共同販売に関する契約を締結(16年3月)
PhⅢ (15年4月)		KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行)	
※PhⅢ (16年3月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	

## 参考

開発段階	一般名	薬効	特徴	備考
MSD(株)により申請(15年10月)	デスロラタジン	アレルギー性鼻炎 蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、 皮膚そう痒症)に伴うそう痒	第二世代ヒスタミンH1受容体拮抗薬	MSD(株)の関連会社と日本国内における共同販売契約を締結(14年11月)

# 開発品一覧②(2016年5月12日現在)

## POCプロジェクト(Ph I ~Ph II)

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (再) (15年8月)	メルツ社 Ph III	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph I / II (15年7月)	【米国】桃太郎源 :Ph I / II 前立腺がん(14年5月)	Ad-SGE-REIC	悪性胸膜中皮腫	岡山大学	岡山大学で発見された新規がん抑制遺伝子REICを使用する遺伝子治療薬。がん細胞選択的アポトーシスと抗がん免疫の活性化を誘導することが期待される	産学共同実用化開発事業[NexTEP]への採択 (14年6月)



# 開発品一覧③(2016年5月12日現在)

## 導出品の状況

開発段階／海外	製品名・ 開発コード	導出先	薬効	起源	特徴	備考
Ph I	KRP-203	スイス ノバルティス	移植片対宿主病 (GvHD)	自社	S1P受容体アゴニスト。免疫調節剤	ノバルティスとライセンス契約 (06年2月) GvHDでの開発集中を 決定(15年11月公表)
前臨床	—	米国 フリストル・マイヤース スクイブ社	非開示	自社	FPR2作動薬。主に好中球の遊走を抑制し抗炎症作用を示す	BMS社とライセンス契約 (15年12月)

# 参考資料

## 報告セグメントごとの売上高および利益

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	<b>1,195</b>	<b>+64</b>	<b>196</b>	<b>+49</b>
医薬品事業計	<b>1,182</b>	<b>+64</b>	<b>195</b>	<b>+49</b>
◆新医薬品	<b>983</b>	<b>+62</b>		
○国内	927	+16		
○海外	56	+46		
◆後発医薬品	<b>155</b>	<b>0</b>		
◆一般用医薬品他	<b>45</b>	<b>+3</b>		
ヘルスケア事業計	<b>12</b>	<b>-1</b>	<b>-1</b>	<b>-1</b>
調整額	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>2</b>	<b>0</b>

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

# 損益計算書の概要：連結①

(単位：百万円)

	15年3月期		16年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	113,121	100.0%	119,483	100.0%	+5.6	+6,362
医薬品事業	111,771	98.8%	118,238	99.0%	+5.8	+6,467
◆新医薬品	92,111	81.4%	98,282	82.3%	+6.7	+6,171
○国内	91,079	80.5%	92,695	77.6%	+1.8	+1,616
○海外	1,032	0.9%	5,586	4.7%	+441.3	+4,554
◆後発医薬品	15,477	13.7%	15,465	12.9%	-0.1	-12
◆一般用医薬品他	4,183	3.7%	4,490	3.8%	+7.3	+307
ヘルスケア事業	1,349	1.2%	1,244	1.0%	-7.8	-105

## <当期のポイント>

- 対前年
- 売上高 **119,483百万円 (+6,362百万円)**
  - 国内新医薬品 **92,695百万円 (+1,616百万円)**

	15.3実績		16.3実績	(億円)
・キプレス	412	⇒	441	(+29)
・フルティフォーム	36	⇒	72	(+36)
・ウリトス	73	⇒	75	(+2)
・ムコダイン	140	⇒	130	(-10)
・ペンタサ	172	⇒	161	(-11)
  - 海外新医薬品 **5,586百万円 (+4,554百万円)**
    - ・ライセンス契約一時金(FPR2作動薬プログラム等)が増加
    - ・ガチフロキサシン 6 ⇒ 8 (+2)
  - 後発医薬品 **15,465百万円 (-12百万円)**
    - \* 他社受託の売上は減少、自社販売の売上は増加
  - 一般用医薬品等 **4,490百万円 (+307百万円)**
  - ヘルスケア(スキンケア) **1,244百万円 (-105百万円)**

### <適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社8社： 杏林製薬(株)  
 Kyorin USA, Inc. Kyorin Europe GmbH  
 ActivX Biosciences, Inc.  
 キョーリン リメディオ(株)  
 キョーリン メディカルサプライ(株)  
 ドクタープログラム(株)  
 キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社： 日本理化学薬品(株)

# 損益計算書の概要：連結一②

(単位：百万円)

	15年3月期		16年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	113,121	100.0%	<b>119,483</b>	100.0%	+5.6%	+6,362
売上原価	46,598	41.2%	<b>47,360</b>	39.6%	+1.6%	+762
売上総利益	66,522	58.8%	<b>72,122</b>	60.4%	+8.4%	+5,600
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	51,785 (13,514)	45.8% 11.9%	<b>52,486</b> <b>(13,019)</b>	43.9% 10.9%	+1.4% -3.7%	+701 -495
営業利益	14,737	13.0%	<b>19,636</b>	16.4%	+33.2%	+4,899
営業外収益	768	0.7%	<b>531</b>	0.4%	-30.9%	-237
営業外費用	16	0.0%	<b>172</b>	0.1%	+975.0%	+156
経常利益	15,490	13.7%	<b>19,995</b>	16.7%	+29.1%	+4,505
特別利益	4,505	4.0%	<b>1,940</b>	1.6%	-56.9%	-2,565
特別損失	2,434	2.2%	<b>3,120</b>	2.6%	+28.2%	+686
税金等調整前 当期純利益	17,561	15.5%	<b>18,815</b>	15.7%	+7.1%	+1,254
法人税・住民税 及び事業税	4,712	4.2%	<b>5,191</b>	4.3%	+10.2%	+479
法人税等調整額	785	0.7%	<b>-15</b>	-0.0%	-	-800
親会社株主に帰属 する当期純利益	12,064	10.7%	<b>13,639</b>	11.4%	+13.1%	+1,575

## <当期のポイント>

◆原価率：前年比1.6ポイント低下  
(41.2%→39.6%)

【低下要因】ライセンス契約一時金

◆研究開発費率：前年比1.0ポイント低下  
(11.9%→10.9%)

\* 135億円→130億円 (5億円減少)  
わたらせ創薬センター開設の費用増加(減価償却費、移転費用)  
KRP-114V(共同開発契約等)の費用等が減少

◆販管費率(除くR&D費)：前年比0.8ポイント低下  
(33.8%→33.0%)

\* 383億円→395億円 (12億円増加)  
特許等使用料、販売費等の増加

■営業利益 19,636百万円 (+4,899百万円)

\* 営業利益率は16.4%と3.4ポイント上昇

■親会社株主に帰属する当期純利益

13,639百万円 (+1,575百万円)

特別利益19億円、特別損失31億円

■配当

58円00銭/株(うち、中間配当20円/株)

配当性向31.8%

# 貸借対照表の概要：連結

(単位: 百万円)

	15年3月期末	
	実績	構成比
<b>流動資産</b>	129,064	70.4%
現金及び預金	30,652	—
受取手形及び売掛金	47,007	
有価証券	17,867	
棚卸資産	25,929	
その他流動資産	7,607	
<b>固定資産</b>	54,318	29.6%
有形固定資産	19,374	—
無形固定資産	1,184	
投資その他	33,760	
<b>資産合計</b>	183,383	100.0%

16年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
<b>138,483</b>	<b>70.0%</b>	<b>+9,419</b>
45,712	—	—
48,296		
5,989		
27,665		
10,818		
<b>59,342</b>	<b>30.0%</b>	<b>+5,024</b>
22,788	—	—
1,201		
35,353		
<b>197,825</b>	<b>100.0%</b>	<b>+14,442</b>

## <当期のポイント>

### ■ 流動資産：+9,419百万円

- ・現金及び預金の増加 ( +15,060百万円)
- ・受取手形及び売掛金の増加 ( +1,289百万円)
- ・有価証券の減少 ( -11,878百万円)
- ・棚卸資産の増加 ( +1,736百万円)

### ■ 固定資産：+5,024百万円

- ・有形固定資産の増加 ( +3,414百万円)
- ・無形固定資産の増加 ( +17百万円)
- ・投資その他の増加 ( +1,593百万円)

<b>流動負債</b>	27,773	15.1%
支払手形及び買掛金	11,259	—
その他流動負債	16,513	
<b>固定負債</b>	7,009	3.8%
<b>負債合計</b>	34,782	19.0%
<b>株主資本</b>	140,518	76.6%
<b>その他の包括利益累計額</b>	8,082	4.4%
その他有価証券評価差額金	7,798	—
為替換算調整勘定	168	
退職給付に係る調整累計額	115	
<b>純資産合計</b>	148,600	81.0%
<b>負債及び純資産合計</b>	183,383	100.0%

<b>28,052</b>	<b>14.2%</b>	<b>+279</b>
11,792	—	—
16,259		
<b>12,723</b>	<b>6.4%</b>	<b>+5,714</b>
<b>40,776</b>	<b>20.6%</b>	<b>+5,994</b>
<b>149,808</b>	<b>75.7%</b>	<b>+9,290</b>
<b>7,241</b>	<b>3.7%</b>	<b>-841</b>
10,372	—	—
160		
-3,292		
<b>157,049</b>	<b>79.4%</b>	<b>+8,449</b>
<b>197,825</b>	<b>100.0%</b>	<b>+14,442</b>

### ■ 流動負債：+279百万円

- ・支払手形及び買掛金の増加 ( +533百万円)
- ・その他流動負債の減少 ( -254百万円)

### ■ 固定負債：+5,714百万円

# 主な業績項目の推移：連結

(単位:百万円)	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	103,232 (2,015)	107,031 (2,400)	111,400 (1,849)	113,121 (1,032)	<b>119,483</b> <b>(5,586)</b>	<b>120,000</b> <b>(3,800)</b>
売上原価 (売上原価率)%	36,926 (35.8%)	40,133 (37.5%)	43,047 (38.6%)	46,598 (41.2%)	<b>47,360</b> (39.6%)	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	51,842 (50.2%)	48,949 (45.7%)	50,744 (45.6%)	51,785 (45.8%)	<b>52,486</b> (43.9%)	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	13,964 (13.5%)	11,059 (10.3%)	11,359 (10.2%)	13,514 (11.9%)	<b>13,019</b> (10.9%)	<b>13,500</b> <b>(11.3%)</b>
営業利益 (営業利益率)%	14,464 (14.0%)	17,948 (16.8%)	17,607 (15.8%)	14,737 (13.0%)	<b>19,636</b> (16.4%)	<b>14,500</b> <b>(12.1%)</b>
経常利益 (経常利益率)%	15,275 (14.8%)	18,676 (17.4%)	18,281 (16.4%)	15,490 (13.7%)	<b>19,995</b> (16.7%)	<b>14,900</b> <b>(12.4%)</b>
当期純利益 (当期純利益率)%	9,231 (8.9%)	12,422 (11.6%)	12,025 (10.8%)	12,064 (10.7%)	<b>13,639</b> (11.4%)	<b>10,700</b> <b>(8.9%)</b>
一株当たり当期利益(円)	123.54円	166.25円	160.95円	161.63円	<b>184.28円</b>	<b>145.23円</b>
資本金	700	700	700	700	<b>700</b>	—
総資産	145,673	154,968	169,378	183,383	<b>197,825</b>	—
株主資本	117,931	126,985	135,273	140,518	<b>149,808</b>	—
純資産	118,201	129,099	137,821	148,600	<b>157,049</b>	—
一株当たり純資産(円)	1,581.94円	1,727.86円	1,844.61円	2,009.45円	<b>2,131.67円</b>	—
自己資本利益率%	8.0%	10.0%	9.0%	8.4%	<b>8.9%</b>	—
自己資本比率%	81.1%	83.3%	81.4%	81.0%	<b>79.4%</b>	—
人員(人)	2,297人	2,444人	2,452人	2,445人	<b>2,420人</b>	—
設備投資	1,952	6,576	6,500	2,655	<b>7,218</b>	<b>4,700</b>
減価償却費	2,363	2,738	3,153	3,053	<b>3,730</b>	<b>3,900</b>

# 2017年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	16年3月期 (実績)	17年3月期 (予想)	対前年	
			増減額	増減率(%)
売上高	119,483	<b>120,000</b>	+517	+0.4
医療用医薬品事業 <sup>※</sup>	113,970	<b>114,000</b>	+30	+0.0
◆新医薬品	98,506	<b>92,400</b>	-6,105	-6.2
国内	92,920	<b>88,500</b>	-4,419	-4.8
海外	5,586	<b>3,800</b>	-1,786	-32.0
◆後発医薬品	15,465	<b>21,500</b>	+6,035	+39.0
ヘルスケア事業 <sup>※</sup>	5,512	<b>6,000</b>	+488	+8.9
営業利益	19,636	<b>14,500</b>	-5,136	-26.2
経常利益	19,995	<b>14,900</b>	-5,095	-25.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,639	<b>10,700</b>	-2,939	-21.6

※売上高のセグメントにおける内容を2017年3月期より変更します。

変更後の「医療用医薬品事業」の内容は新医薬品・後発医薬品で、「ヘルスケア事業」はスキンケア・環境衛生・一般用医薬品他で構成しています。



# 損益計算書の概要：杏林製薬－①

(単位:百万円)

## <当期のポイント>

対前年

■ 売上高 106,390百万円 (+7,938百万円)

● 国内新医薬品 90,480百万円 (+2,468百万円)

15.3実績 16.3実績 (億円)

・キプレス	412	⇒	441	(+29)
・フルティフォーム	36	⇒	72	(+36)
・ウリトス	73	⇒	75	(+ 2)
・ムコダイン	140	⇒	130	(-10)
・ペンタサ	172	⇒	161	(-11)

● 海外新医薬品 5,343百万円 (+4,503百万円)

・ガチフロキサシン	6	⇒	8	(+ 2)
-----------	---	---	---	-------

● 後発医薬品 6,878百万円 (+474百万円)

・キョーリン リメディオ製品の売上増

● 一般用医薬品他 3,686百万円 (+491百万円)

・ミルトン	20	⇒	21	(+ 1)
・ルビスタ	5	⇒	8	(+ 3)

	15年3月期		16年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	98,452	100.0%	<b>106,390</b>	100.0%	+8.1%	<b>+7,938</b>
医薬品事業	98,452	100.0%	<b>106,390</b>	100.0%	+8.1%	<b>+7,938</b>
◆新医薬品	88,852	90.2%	<b>95,824</b>	90.1%	+7.8%	<b>+6,972</b>
○国内	88,012	89.4%	<b>90,480</b>	85.0%	+2.8%	<b>+2,468</b>
○海外	840	0.9%	<b>5,343</b>	5.0%	+536.1%	<b>+4,503</b>
◆後発医薬品	6,404	6.5%	<b>6,878</b>	6.5%	+7.4%	<b>+474</b>
◆一般用医薬品他	3,195	3.2%	<b>3,686</b>	3.5%	+15.4%	<b>+491</b>

# 損益計算書の概要：杏林製薬－②

(単位:百万円)

	15年3月期		16年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	98,452	100.0%	106,390	100.0%	+8.1%	+7,938
売上原価	38,951	39.6%	40,798	38.3%	+4.7%	+1,847
売上総利益	59,501	60.4%	65,591	61.7%	+10.2%	+6,090
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	47,349 (12,843)	48.1% (13.0%)	48,129 (12,421)	45.2% (11.7%)	+1.7% -3.3%	+780 -422
営業利益	12,151	12.3%	17,461	16.4%	+43.7%	+5,310
営業外収益	964	1.0%	652	0.6%	-32.4%	-312
営業外費用	0	0.0%	127	0.1%	-	+127
経常利益	13,115	13.3%	17,985	16.9%	+37.1%	+4,870
特別利益	4,505	4.6%	1,828	1.7%	-59.4%	-2,677
特別損失	2,405	2.4%	3,037	2.9%	+26.3%	+632
税引前当期純利益	15,215	15.5%	16,776	15.8%	+10.3%	+1,561
法人税・住民税 及び事業税	3,998	4.1%	4,600	4.3%	+15.1%	+602
法人税等調整額	804	0.8%	62	0.1%	-92.3%	-742
当期純利益	10,412	10.6%	12,113	11.4%	+16.3%	+1,701

## <当期のポイント>

◆原価率：前年比1.3ポイント低下  
(39.6%→38.3%)

【低下要因】ライセンス契約一時金

◆研究開発費率：前年比1.3ポイント低下  
(13.0%→11.7%)

\* 128億円→124億円(4億円減少)  
 わたらせ創薬センター開設の費用増加(減価償却費、移転費用)  
 KRP-114V(共同開発契約等)の費用等が減少

◆販管费率(除くR&D費)：前年比1.4ポイント低下  
(35.0%→33.6%)

■営業利益 17,461百万円(+5,310百万円)

\* 営業利益率は16.4%と4.1ポイント上昇

■当期純利益 12,113百万円(+1,701百万円)

# 貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)

	15年3月期末	
	実績	構成比
<b>流動資産</b>	97,822	68.4%
現金及び預金	14,587	
売掛金	43,220	
有価証券	12,804	—
棚卸資産	21,763	
その他流動資産	5,447	
<b>固定資産</b>	45,145	31.6%
有形固定資産	12,324	
無形固定資産	376	—
投資その他	32,444	
<b>資産合計</b>	142,967	100.0%

16年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
<b>102,859</b>	<b>66.1%</b>	<b>+5,037</b>
22,326		
44,374		
5,905	—	—
21,774		
8,477		
<b>52,778</b>	<b>33.9%</b>	<b>+7,633</b>
14,866		
486	—	—
37,424		
<b>155,637</b>	<b>100.0%</b>	<b>+12,670</b>

## <当期のポイント>

### ■流動資産： +5,037百万円

- ・現金及び預金の増加 ( +7,739百万円)
- ・売掛金の増加 ( +1,154百万円)
- ・有価証券の減少 ( -6,899百万円)
- ・棚卸資産の増加 ( +11百万円)

### ■固定資産： +7,633百万円

- ・有形固定資産の増加 ( +2,542百万円)
- ・無形固定資産の増加 ( +110百万円)
- ・投資その他の増加 ( +4,980百万円)

<b>流動負債</b>	20,958	14.7%
買掛金	8,323	—
その他流動負債	12,635	
<b>固定負債</b>	3,762	2.6%
<b>負債合計</b>	24,720	17.3%
<b>株主資本</b>	110,534	77.3%
評価・換算差額等	7,712	5.4%
<b>純資産合計</b>	118,246	82.7%
<b>負債及び純資産合計</b>	142,967	100.0%

<b>20,102</b>	<b>12.9%</b>	<b>-856</b>
7,673	—	—
12,428		
<b>7,925</b>	<b>5.1%</b>	<b>+4,163</b>
<b>28,027</b>	<b>18.0%</b>	<b>+3,307</b>
<b>117,300</b>	<b>75.4%</b>	<b>+6,766</b>
<b>10,309</b>	<b>6.6%</b>	<b>+2,597</b>
<b>127,610</b>	<b>82.0%</b>	<b>+9,364</b>
<b>155,637</b>	<b>100.0%</b>	<b>+12,670</b>

### ■流動負債： -856百万円

- ・買掛金の減少 ( -650百万円)

### ■固定負債： +4,163百万円

# 主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位:百万円)	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	93,697 (1,904)	95,894 (2,277)	97,662 (1,650)	98,452 (840)	<b>106,390</b> <b>(5,343)</b>	<b>106,400</b> <b>(3,600)</b>
売上原価 (売上原価率)%	32,046 (34.2%)	33,868 (35.3%)	35,119 (36.0%)	38,951 (39.6%)	<b>40,798</b> <b>(38.3%)</b>	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	47,679 (50.9%)	44,898 (46.8%)	47,175 (48.3%)	47,349 (48.1%)	<b>48,129</b> <b>(45.2%)</b>	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	13,472 (14.4%)	10,733 (11.2%)	11,064 (11.3%)	12,843 (13.0%)	<b>12,421</b> <b>(11.7%)</b>	<b>12,900</b> <b>(12.1%)</b>
営業利益 (営業利益率)%	13,971 (14.9%)	17,127 (17.9%)	15,368 (15.7%)	12,151 (12.3%)	<b>17,461</b> <b>(16.4%)</b>	<b>11,700</b> <b>(11.0%)</b>
経常利益 (経常利益率)%	15,126 (16.1%)	18,209 (19.0%)	16,230 (16.6%)	13,115 (13.3%)	<b>17,985</b> <b>(16.9%)</b>	<b>12,200</b> <b>(11.5%)</b>
当期純利益 (当期純利益率)%	9,274 (9.9%)	11,931 (12.4%)	10,823 (11.1%)	10,412 (10.6%)	<b>12,113</b> <b>(11.4%)</b>	<b>8,900</b> <b>(8.4%)</b>
一株当たり当期利益(円)	124.88円	160.66円	145.74円	140.20円	<b>163.11円</b>	—
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	<b>4,317</b>	—
総資産	121,985	121,881	130,997	142,967	<b>155,637</b>	—
株主資本	101,652	100,586	106,211	110,534	<b>117,300</b>	—
純資産	102,177	102,844	109,606	118,246	<b>127,610</b>	—
一株当たり純資産(円)	1,375.79円	1,384.77円	1,475.82円	1,592.16円	<b>1718.23円</b>	—
自己資本利益率%	9.4%	11.6%	10.2%	9.1%	<b>9.9%</b>	—
自己資本比率%	83.8%	84.4%	83.7%	82.7%	<b>82.0%</b>	—
人員(人)	1,798人	1,797人	1,780人	1,771人	<b>1,731人</b>	—
設備投資	1,425	1,507	4,763	1,125	<b>5,059</b>	<b>1,800</b>
減価償却費	1,790	1,743	1,743	1,667	<b>2,241</b>	<b>2,300</b>